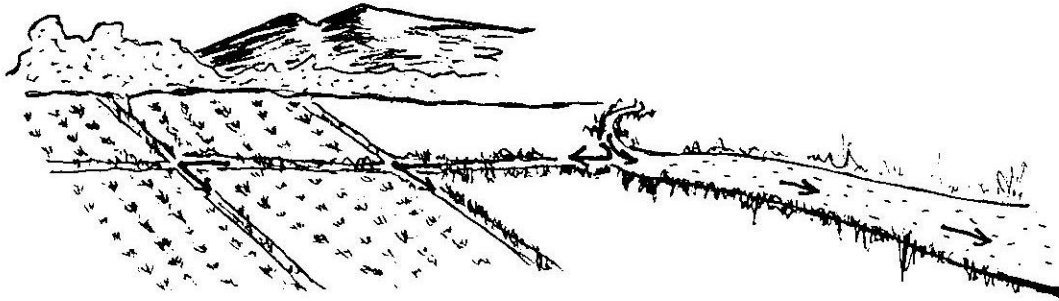


人々の間で場所の取り合いが起きました。少しでも水の豊かな所をもとめて、血を流す戦いがくりひろげられました。やがて、人々は知恵を出し合って、川からはなれた所にも田を作ること考えました。

①水の通り道を作ります(用水路)



泉区にある堰や堤

安永風土記にみえるせきとつつみ(江戸時代)

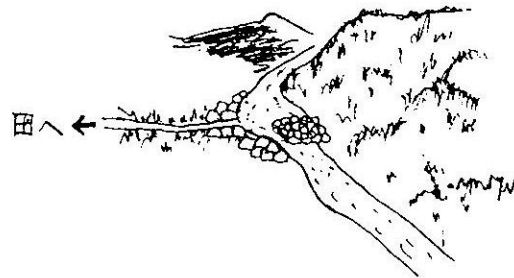
地区名	せき	つつみ	計
根白石地区			
福岡	1		1
朴沢	4		4
根白石	1	2	3
田中	9	15	24
小角	4	6	10
実沢	5	10	15
七北田地区			
市名坂	7	9	16
七北田	4	16	20
上谷刈	2	16	18
大沢(七北田)	16	16	32
松森	1	11	12
古内	1	4	5

(※荒巻・野村の記録はない。)

②川から水をひけないときは

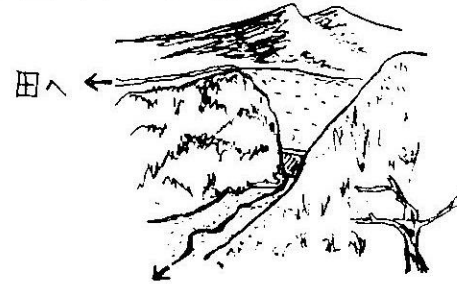
水は高い土地から低い土地に向かって流れます。川が田より低い所を流れているときはどうしたらよいでしょうか。

(1) 堰を作ります



田のそばを流れる川の上流をえらび川中に石や木で流れをさえぎって水を取り入れます。

(2) 堤を作ります



沢のおくをえらび、たくさんの水がたまるように、ていほうでせき止めて作ったため池(ダムのような池)

むかしの人々が苦勞しながらも新しい田を作ろうとしたのは、なぜでしょうか？